

AIの進化、人口減少、変化する世界情勢。私たちは今、大きな変化の時代を生きています。

飯山市もまた、これからを考える大切なターニングポイントにあります。

「今すぐ必要な政治」と「10年後、20年後の飯山のために必要な政治」を両立させ、
「住みたい・帰りたい・関わりたい」と思える飯山市を、市民の皆さんと一緒につくっていきます。

最重要項目

01：子育て・教育



これからのAI時代でも自分を愛し、
自分らしく考え、行動できる子どもたちへ

- 公園や全天候型の室内遊び場を整備
- 全国から選ばれる「教育移住地」を目指し、公教育への投資で魅力ある学校環境を整備
- 各校のPTAと連携し、学校現場の声を行政へ
- 通学に関する困りごとの把握・改善
- 学校給食への有機米・有機野菜の導入
- 小中高生が集中して学べる自習スペースの拡充、ICT教材も活用した市営塾の開設



03：まちづくり・起業・多様な生き方

チャレンジする大人が増えるまちへ
女性や若者が「ここで暮らしたい」と思える飯山に

- 魅力的な日常と文化的な刺激が感じられるまちづくりを推進
- 多様な人が集い、緩やかに交流できる「サードプレイス（自宅でも職場や学校でもない第3の居場所）」の創出
- 思い出の詰まった旧4校の利活用
- テストマーケティングができる「チャレンジショップ」の開設
- 近隣自治体の人材と交流できる場を作り相互刺激と協働を促す

05：自然環境・インフラ・安心安全

いのちを守る環境、あすを支えるインフラ



- 子ども世代も安心して暮らせるインフラ整備を推進
- 水道水源保全条例の内容を現代の課題に合わせて見直す
- 有機フッ素化合物(PFAS)について継続的な情報公開
- 林業への支援を強化し、これからの森林づくりと害獣対策を専門家や猟友会のご意見を聞きながら進める
- 美しい街並みを守るため、景観地区の電線類地中化を推進
- 災害備蓄品について、女性用・子ども用・アレルギー・誤嚥リスク対応など、すべての人が安心して過ごせる備蓄品のストック状況を徹底検証します

02：移住・定住・関係人口の拡大



過密でもなく過疎でもない「適疎」のまちづくり

- 子育て世代やペット同伴世帯をターゲットにした短期移住おためし住宅の整備
- 交流会や便利マップで移住後の孤独や困りごとを減らす
- 「田んぼオーナー制度」を活用し、企業の自社米サービスや社員研修、福利厚生としての農業体験を支援し、関係人口の創出・拡大を図る
- デュアルスクール制度（多地域就学制度）の導入検討
- 仕事・育児・遠距離介護の両立を支えUターンのきっかけづくりと関係人口の拡大につなげる

04：伝統文化・農業・ビジネス



今あるものを深化して、進化へ

- 雪国文化・祭り・郷土食・民芸品、そして飯山市や日本の精神資源を次世代へ継承すると共に新たな価値を創造
- 遊休農地を資産へ、環境再生型農業を推進し、「オーガニックビレッジ宣言」で、付加価値農業へ
- 6次産業化を支援し、ふるさと納税のさらなる充実を
- 現地・都市部での合同試食会や商談会を積極的に実施
- グリーンシーズンのコンテンツ強化
- 地域のお店や職人・施工業者の営業情報、サービス内容、連絡先を整理しインターネットで調べられる環境を整える

挑戦の基本方針

① ご近所感覚で話せる、まちのパートナー

従来の政治家像にとらわれず、誰よりも身近なまちのパートナーを目指します。ママ友、ご近所さん、そんな気軽さを大切にします。

② 育児と仕事を犠牲にしない

仕事と米作りを続けながら、地域の課題について学び、活動していきます。子ども達の日常を守るためにも、土日や17時半以降の活動は、緊急性・重要性を踏まえて調整します。

③ 他人のお金に頼らない

ホームページやSNS、印刷物、動画などの制作・情報発信は、できる限り自分自身で行い、活動費は公費負担制度を利用する分を除き、自分の貯金でまかないます。寄付・献金には頼りません。

④ 既存のやり方に囚われない

大きな組織や拠点を持たず、身の丈に合った活動を続けます。私の考えや政策・方針を発信しながら、共感してくださる方々との一人ひとりのつながりを大切にしていきます。

知り合い3人に伝える&SNSでの情報拡散



お昼寝中のお子さんや仕事の方、大きな音が苦手な方などに配慮し、選挙カーで名前を繰り返す連呼はしません。交通や日常生活への影響を考え、街頭演説も控えます。思いや政策は、ご自身のタイミングで見られるSNSやホームページで発信します。もし共感していただけたら、身近な方3人に私の挑戦をお話しいただけませんか？ SNSでの拡散やコメントも大きな励みになります。

※18歳未満の方や投票日当日の選挙運動はできません。一般の方によるメールでの投票依頼・転送はできません（LINE・SNSは利用可能）

プロフィール

2023年東京から移住、息子・娘・犬（ボーダーコリー）との暮らし
民間の子育て支援企業で幼児教室、イベントの企画・運営、母乳外来の受付業務などを経て、現在は都内IT企業にてリモート勤務。趣味は漫画を読む、アート鑑賞、梅干しや味噌づくり。東日本大震災の後、宮城県気仙沼の小学校を中心にボランティアを続ける中で、厳しい状況に立ち向かう子ども達の姿に何度も勇気もらい、無限の可能性をもつ子ども達と対等に向き合い、共に歩んでいける大人でありたい、と考えるようになった。
好きな言葉は岡本太郎さんの「壁は自分自身だ」

お気軽にご連絡ください

渡邊美千代 連絡先

✉ iiyama.blossom@gmail.com

SNSからのDMやメッセージも可能です
※後援会・事務所は設けておりません



LINK
まとめ



より詳しくはSNS
ホームページへ